



2024年3月期 第2四半期 決算説明資料



- ① 2024年3月期 第2四半期の実績 P 2～
- ② 2024年3月期 の予想 P14～
- 【参考資料】 P17～

①

2024年3月期 第2四半期の実績

1. 2024年3月期 第2四半期 連結決算概要

	2023/3 2Q実績		2024/3 2Q実績		前年対比 増減(%)	(参考)2Q予想対比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)		増減金額	増減 (%)
売上高(百万円)	13,253	100.0	14,276	100.0	+7.7	△376	△2.6
営業利益(百万円)	△410	-	281	2.0	-	△17	△6.0
経常利益(百万円)	△167	-	531	3.7	-	+223	+72.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	△66	-	214	1.5	-	+49	+30.1
1株当たり純利益(円)	△3.43	-	11.10	-	-	+2.57	+30.1
1株当たり配当金(円)	-	-	5	-	-	5	-
施設・店舗数							
介護施設(カ所)	118	-	119	-	+1	-	△1
カラオケ店舗(店舗)	81	-	78	-	△3	-	±0
飲食店舗(店舗)	11	-	10	-	△1	-	±0

- 主に介護施設数の増加及びカラオケ事業、飲食事業の業績の回復により、前年と比較して増収となる。
- 介護事業において6月より入居料の値上げを行ったこと、カラオケ事業の赤字額の縮小等により増益となる。
- 介護事業において物価高騰対策支援金等、営業外収益が想定よりも多くあり、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、予算を上回る結果となる。

2. 事業別サマリー ① 介護事業

(単位:百万円)

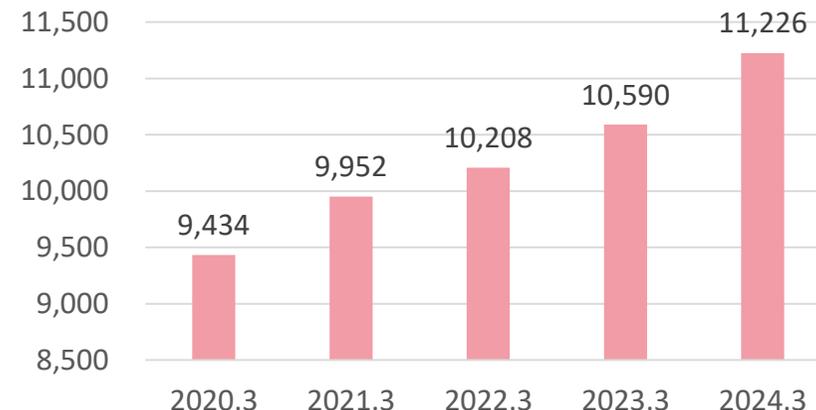
	2023/3 2Q	2024/3 2Q	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	10,590	11,226	+6.0%	△172	△1.5%
セグメント利益	494	749	+51.4%	+137	+22.5%
セグメント利益率	4.7%	6.7%	+2.0pt	—	+1.3pt

	2023/3 2Q		2024/3 2Q	
	既存施設	全施設	既存施設	全施設
入居率	92.3%	89.9%	91.0%	89.8%
ベッド数	5,329床	5,549床	5,742床	5,774床

退去率	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 2Q
退去者数 /総入居者数	2.4%	2.5%	2.8%	2.9%

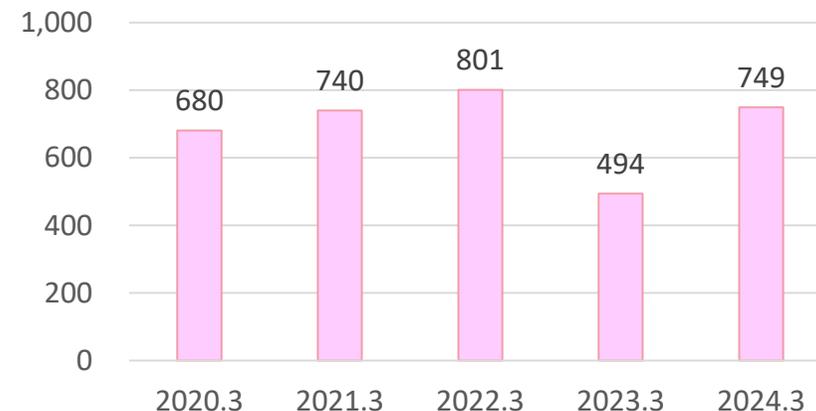
- 事業所の統合、合理化なども行い拠点は119ヶ所196事業所。
- 5/8以降家族との面会を原則として全面的に解禁。施設内でのイベントも活性化させ、生きがいづくりを推進していく。

(百万円)



■ 第2四半期累計売上高

(百万円)

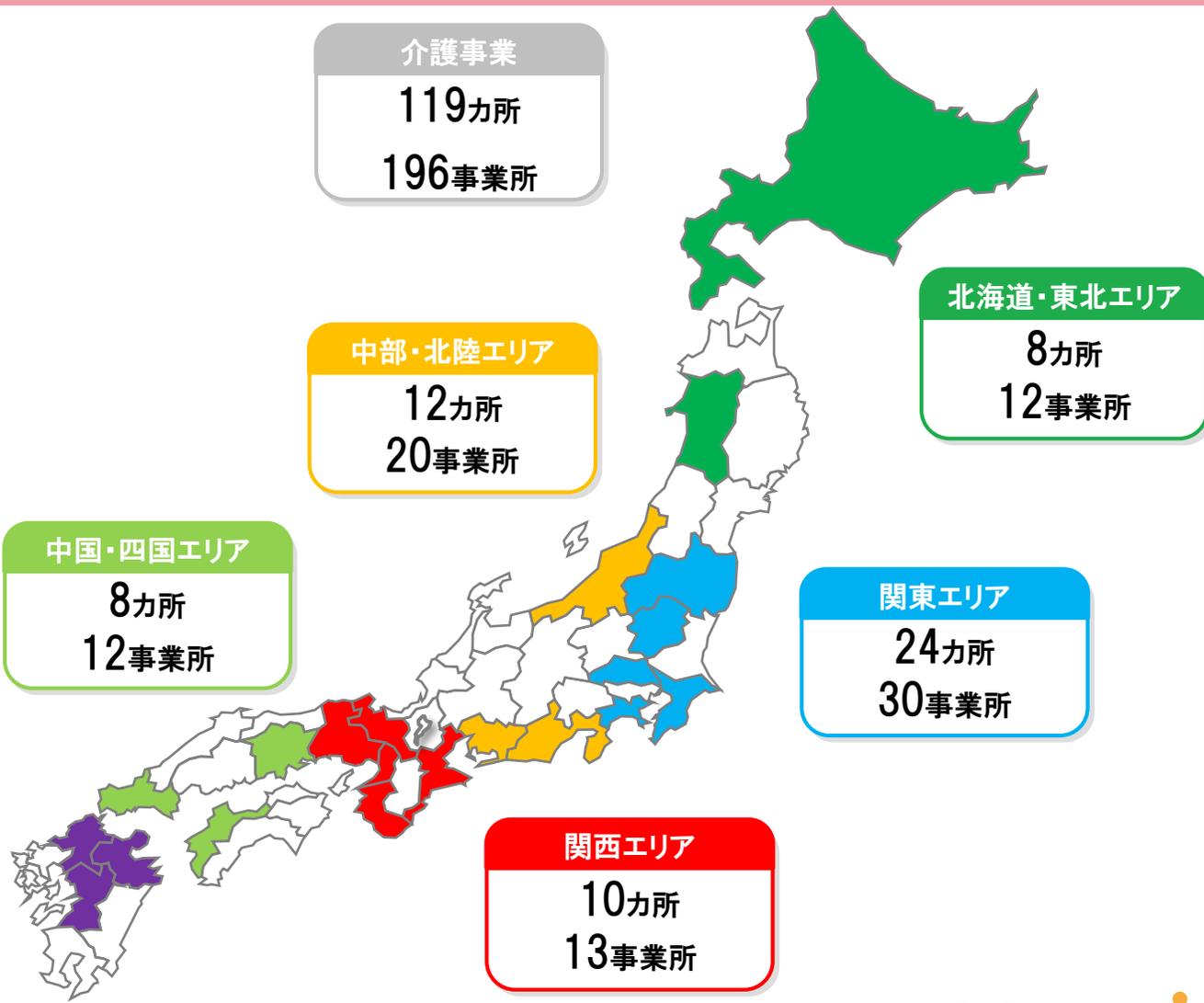


■ 第2四半期累計セグメント利益

2. 事業別サマリー ① 介護事業

展開状況（2023年9月30日現在）

	事業所数
介護付きホーム	69
住宅型有料老人ホーム	14
ショートステイ	34
グループホーム	14
デイサービス	18
障がい児通所支援事業	27
その他	20
合計	196



2. 事業別サマリー ① 介護事業

戦略 ①

介護付きホーム
の積極展開

戦略 ②

放課後等
デイサービスの展開

戦略 ③

M&Aの
推進

戦略 ④

介護施設を収益
不動産として取得
(不動産事業)

戦略 ⑤

福祉用具販売
・レンタル部門の強化

2023年度以降の新規開設

2023年 12月開設予定	さわやか目白の里 (東京都新宿区)	介護付きホーム (特定施設)	56床
2024年 4月開設予定	さわやかとよたの里 (愛知県豊田市)	介護付きホーム (特定施設)	56床

2022年度に取得した収益物件(介護施設)

2023年 3月取得	オリーブ柏原 (大阪府柏原市)	サービス付き高齢者向け住宅
2023年 3月取得	オリーブ柏原PLUS (大阪府柏原市)	介護付きホーム

- 安定した家賃収入を見込むとともに、運営オペレーターとの関係性を構築し、事業者間でのシナジーを期待。

リーズナブルな価格設定

- 入居一時金 = 0円
- 月額基本料金(居室料+食費+管理費) 約141,000円

堅調な入居率

- 既存施設(2024年3月期2Q平均) 91.0%
- 既存施設(2023年3月期2Q平均) 92.3%

2. 事業別サマリー ② カラオケ事業

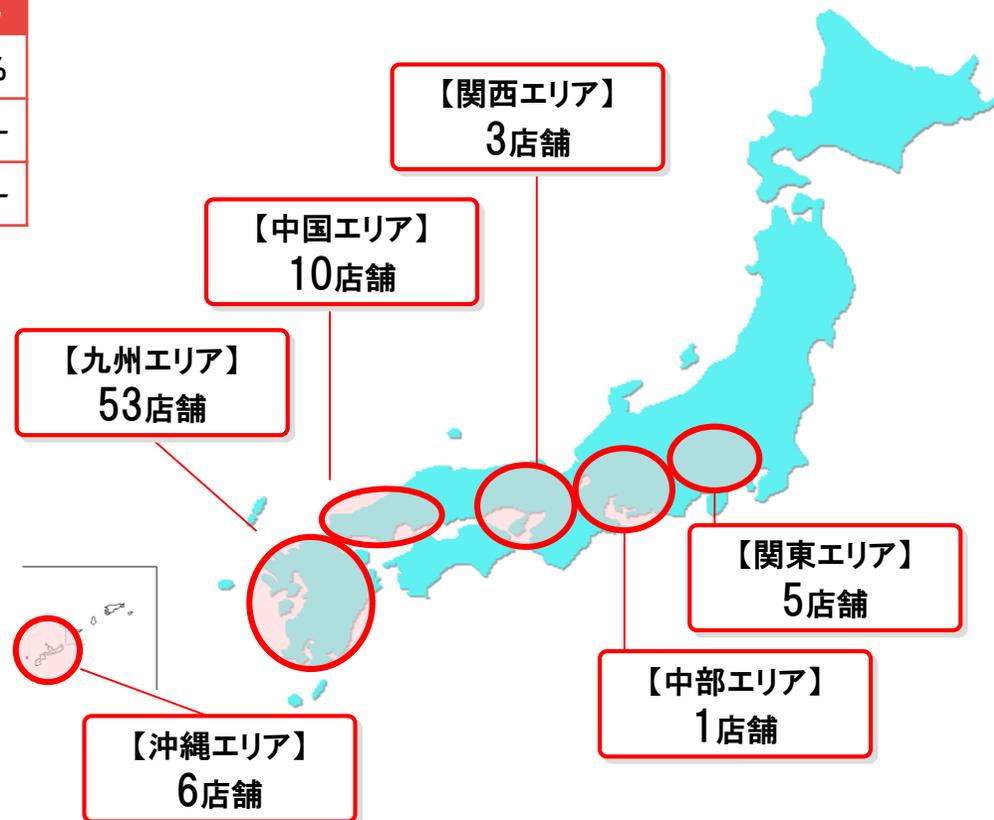
(単位:百万円)

	2023/3 2Q	2024/3 2Q	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	1,933	2,474	+28.0%	△305	△11%
セグメント利益	△483	△156	—	△225	—
セグメント利益率	—	—	—	—	—

カラオケ事業の展開状況 合計78店舗 (2023年9月末現在)

	2023/3 2Q		2024/3 2Q	
	既存店舗	全店舗	既存店舗	全店舗
客数	1,342千人	1,372千人	1,547千人	1,552千人
客単価	1,364円	1,358円	1,527円	1,526円

- 前期と比較して、客数は回復傾向、メニュー単価の改定により客単価も上昇。
- 店舗数は前期末より4店舗減少、78店舗。
- 引き続き家賃の減額交渉等経費の節減に努める。



2. 事業別サマリー ③ 飲食事業・不動産事業・その他

飲食事業

(単位:百万円)

	2023/3 2Q	2024/3 2Q	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	200	317	+58.1%	△1	△0.5%
セグメント利益	△53	10	—	+10	—
セグメント利益率	—	3.3%	—	—	—

- 店舗数は国内のみ10店舗。
- コロナウィルス感染症に起因する社会不安も徐々に緩和しており、集客は回復傾向となる。

不動産事業

(単位:百万円)

	2023/3 2Q	2024/3 2Q	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	448	222	△52.9	+103	+86.7%
セグメント利益	121	74	△38.8	+28	+61.7%
セグメント利益率	27.2%	33.5%	+6.3pt	—	△5.2pt

- 前期と比較して販売用不動産の取引の差異により減収減益となるが、前期収益不動産の建設及び取得により、賃料収入は増加。

その他

- ①日本国内企業における就労人材需要に対して、インドネシア人材の紹介を提案。
- ②①で合意を得たのち、インドネシアにてインドネシア人を対象に日本語教育を行う。
- ③履修後、特定技能外国人として国内に向かい入れを行う際、登録支援機関である㈱ウチヤマホールディングスが入国、就労、生活等の支援を行う。



(単位:百万円)

	2023/3 2Q	2024/3 2Q	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	80	35	△55.5	±0	△0.1%
セグメント利益	△65	20	—	+1	+5.3%
セグメント利益率	—	52.6%	—	—	+2.9%

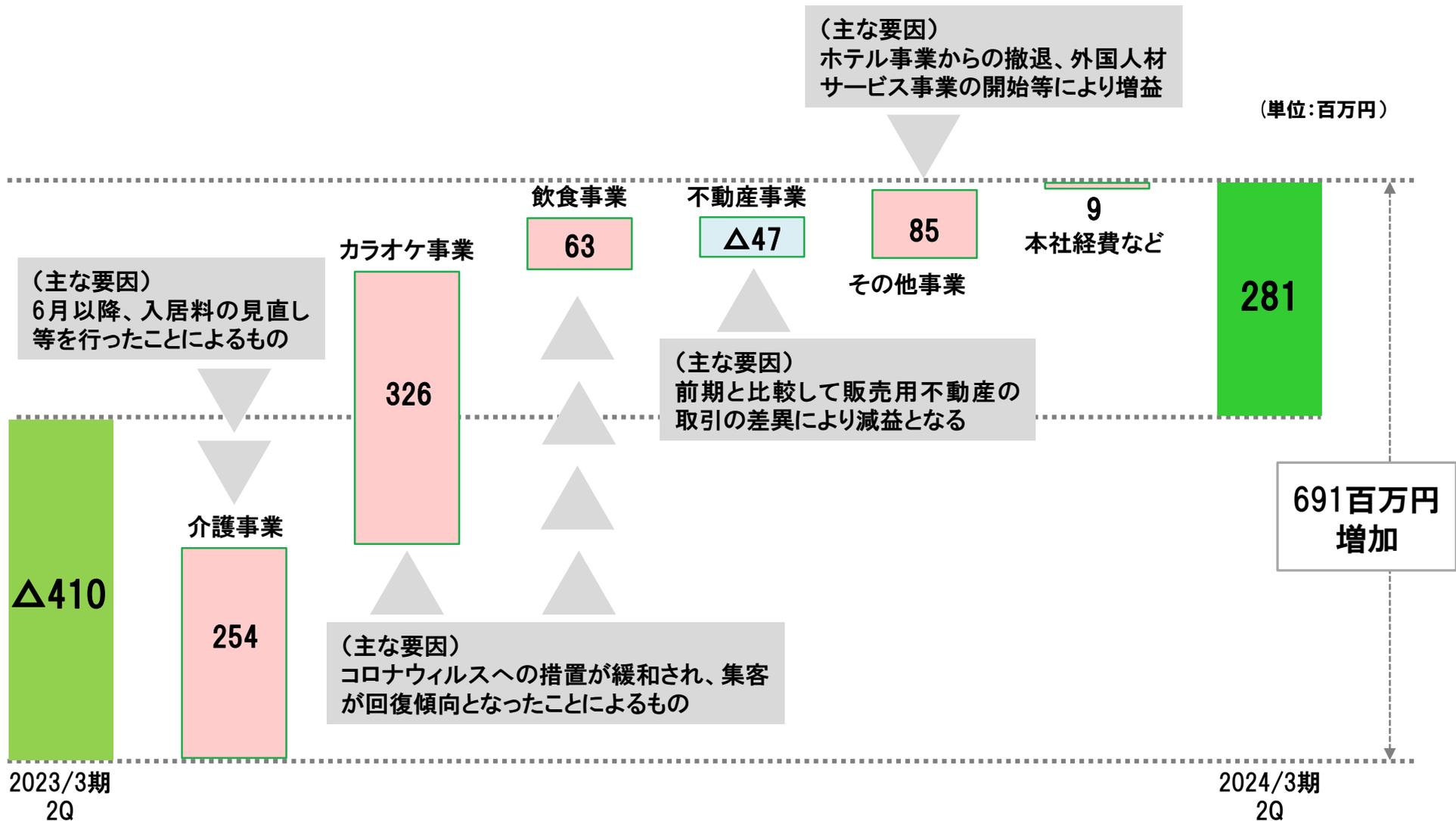
- 前期は主にホテル事業の業績。

3. 要約損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3 2Q 累計	構成比 (%)	2024/3 2Q 累計	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	13,253	100.0	14,276	100.0	7.7
売上原価	12,900	97.3	13,250	92.8	2.7
売上総利益	353	2.7	1,026	7.2	190.4
販売費及び一般管理費	764	5.8	744	5.2	△ 2.5
営業利益	△ 410	—	281	2.0	—
営業外収益	292	2.2	314	2.2	7.8
営業外費用	48	0.4	64	0.4	32.2
経常利益	△ 167	—	531	3.7	—
特別利益	273	2.1	75	0.5	△ 72.5
特別損失	12	0.1	99	0.7	696.4
税金等調整前四半期純利益	93	0.7	507	3.6	442.3
法人税等	159	1.2	292	2.0	83.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 66	—	214	1.5	—

3. 要約損益計算書（連結） 営業利益 増減分析



3. セグメント利益 増減分析

コロナ前(2020年3月期第2四半期)との比較

(単位:百万円)

		2020年第2四半期		2023年第2四半期		コロナ前比	
		金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	率(%)
介護事業	売上高	9,434	100.0	11,226	100.0	1,791	19.0
	利益	680	7.2	749	6.7	68	10.1
カラオケ事業	売上高	3,484	100.0	2,474	100.0	△ 1,010	△ 29.0
	利益	381	11.0	△ 156	-	△ 538	-
飲食事業	売上高	677	100.0	317	100.0	△ 359	△ 53.1
	利益	15	2.3	10	3.3	△ 5	△ 33.0
不動産事業	売上高	2,872	100.0	222	100.0	△ 2,649	△ 92.2
	利益	537	18.7	74	33.5	△ 463	△ 62.1

- 介護事業は順調に成長しているが、物価高、光熱費の上昇等により、利益の伸びは鈍い。
- カラオケ事業では店舗数は89→78に減少。また、4～9月の6カ月で売上高1,010百万円、セグメント利益463百万円のマイナス。店舗数の減少を踏まえても、回復の遅れを実感。
- 飲食事業では店舗数が18→10店舗に減少しているため、売上高は大幅に減少しているが、利益面では回復。
- 不動産事業では2019年4月に行った東京都港区新橋の販売用不動産の売却取引が売上高、利益を大きく押し上げた。

4. 要約貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2023/3	2024/3 2Q	増減額 (百万円)
流動資産	13,528	14,905	1,376
現金及び預金	9,446	10,819	1,373
たな卸資産	287	228	△ 59
固定資産	16,539	16,116	△ 422
有形固定資産	11,090	10,980	△ 109
建物及び構築物(純額)	7,432	7,241	△ 191
土地	3,390	3,380	△10
無形固定資産	36	33	△ 3
投資その他の資産	5,412	5,102	△ 309
資産合計	30,067	31,021	954

	2023/3	2024/3 2Q	増減額 (百万円)
流動負債	8,336	9,247	911
短期借入金	2,877	3,291	413
1年以内返済予定の 長期借入金	2,409	2,372	△ 37
固定負債	9,469	9,383	△ 85
長期借入金	8,159	8,079	△ 80
負債合計	17,805	18,631	826
(有利子負債)	13,670	13,915	245
純資産合計	12,262	12,390	128
(自己資本比率)	40.8 %	39.9 %	△0.9
(ネットD/Eレシオ)	0.37 倍	0.28 倍	△0.9pt
負債純資産合計	30,067	31,021	954

※1 有利子負債＝短期借入金+1年以内返済予定の長期借入金+設備未払金+1年内償還予定の社債+リース債務+長期借入金+長期設備未払金+社債

※2 自己資本比率＝(株主資本+その他の包括利益累計額)／負債純資産合計

※3 ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現金及び預金)／純資産合計

5. 要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3 2Q累計	2024/3 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	84	1,242
税金等調整前当期純利益	93	507
減価償却費	309	316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,319	△ 42
有形固定資産の取得による支出	△ 1,111	△ 227
財務活動によるキャッシュ・フロー	114	147
配当金の支払額	△ 193	△ 96
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,119	1,348
現金及び現金同等物の期首残高	11,659	9,054
現金及び現金同等物の期末残高	10,539	10,403

② 2024年3月期の予想

2024年3月期の連結業績予想 通期

通 期		前期(2023/3)		通期予想(2024/3)		前期比	
(単位:百万円)		金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	率(%)
売 上 高		26,911	100.0	30,079	100.0	3,167	11.8
営 業 利 益		△798	-	1,084	3.6	1,883	-
経 常 利 益		△139	-	1,103	3.7	1,242	-
親会社株主に帰属する 当期純利益		△400	-	759	2.5	1,159	-
1株当たり純利益(円)		△20.72	-	39.27	-	59.99	-
1株当たり配当金(円)		5	-	10	-	-	-
介護事業	売 上 高	21,458	100.0	23,213	100.0	1,754	8.2
	利 益	860	4.0	1,366	5.9	506	58.8
カラオケ事業	売 上 高	4,256	100.0	5,881	100.0	1,613	38.2
	利 益	△769	-	454	7.7	1,211	-
飲食事業	売 上 高	499	100.0	671	100.0	184	34.6
	利 益	△64	-	25	3.8	102	-
不動産事業	売 上 高	527	100.0	238	100.0	△288	△54.7
	利 益	146	27.8	98	41.2	△47	△32.7

予想の前提条件

介護事業

新規開設
介護付きホーム
2カ所2事業所、131床

123カ所5,873床

カラオケ事業

新規出店 0店舗
退店 3店舗
期末店舗数 77店舗

飲食事業

期末店舗数 10店舗

不動産事業

販売用不動産売却収入の差額
△376百万円
販売用不動産売却益の差額
△97百万円

2024年3月期の配当予想

■ 2024年3月期の配当

中間配当5円。期末配当5円。

【参考資料】

社名	株式会社ウチヤマホールディングス
本社	福岡県北九州市小倉北区熊本2-10-10
設立	2006年10月（前身は1971年6月）
代表者	代表取締役会長 内山 文治 代表取締役社長 山本 武博
連結従業員数	正社員2,333名、パート・アルバイト等2,373名 合計4,706名（2023年9月末）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 介護事業● カラオケ事業● 飲食事業● 不動産事業● その他(インドネシア日本語学校等)

当社グループの歩み

Further growth: 上場(2012~)

- 2012年4月 大阪証券取引所(現 東京証券取引所) JASDAQ市場(スタンダード)に株式を上場
- 2013年12月 東京証券取引所市場第2部へ市場変更
- 2014年9月 東京証券取引所市場第1部指定
- 2022年4月 東京証券取引所スタンダード市場へ移行
- 2022年8月 特定技能外国人への支援業務を目的とする登録支援機関として登録
- 2022年12月 特定技能外国人材等に関する有料職業紹介事業の許可取得

Constitution: ウチヤマホールディングス設立(2006~)

- 2006年10月 福岡県北九州市小倉北区に株式移転により株式会社さわやか倶楽部、株式会社ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立

2006

介護事業スタート(2003~)

- 2003年4月 介護付ホーム及びデイサービスの併設施設『さわやかパークサイド新川』を福岡県北九州市戸畑区に開所
- 2004年12月 介護部門を新設分割し、福岡県北九州市小倉南区に株式会社さわやか倶楽部を設立
- 2015年11月 障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を開所
- 2018年7月 インドネシアに職業訓練校を設立

2003



さわやかパークサイド新川



内山第1ビル

飲食事業スタート(1995~)

- 1995年11月 福岡県北九州市小倉北区に飲食事業1号店の居酒屋『酒膳房然』を開店
- 2014年11月 タイ1号店「かんできやスクンビット店」オープン

1995

1991

カラオケ事業スタート(1991~)

- 1991年4月 福岡県北九州市八幡西区にカラオケボックス1号店『コロッケ倶楽部黒崎店』を開店

1971

Foundation: 不動産事業の開始(1971~)

- 1971年6月 不動産の販売、賃貸管理を目的として福岡県北九州市小倉北区に内山ビル株式会社を設立

ウチヤマグループの概要

持株会社体制（2006年10月～）

2023年9月末時点

㈱ウチヤマホールディングス

連結会社

㈱さわやか倶楽部

PT. Sawayaka Fujindo Indonesia

連結会社

㈱ボナー

介護事業

その他

不動産事業

カラオケ事業

飲食事業

有料老人ホーム（介護付&住宅型）、グループホーム等の高齢者向けサービスの提供及び障がい児通所支援事業等の運営

・インドネシアにおけるインドネシア人を対象とした日本語学校の運営
・人材紹介業
・特定技能外国人の登録支援業務

・不動産事業における賃貸・管理・仲介・売買業務
・収益不動産事業

カラオケボックスの部屋の提供及び飲食の提供等

複数のコンセプトの居酒屋を運営・展開、顧客層に応じた飲食、サービスの提供

入居者様・利用者様・お客様

※ PT. Sawayaka Fujindo Indonesiaは㈱さわやか倶楽部出資（60%）のインドネシアにおける合併会社。